

令和7年度 園評価について

評価のポイント

- (1) 園の行事の内容や運営は目標に沿って行われていたか。
- (2) 職員の研修の成果は、保育現場に反映されていたか。
- (3) 保育士間での連携は十分に取れていたか。
- (4) 保育に必要な環境設定と構成は適切であったか。
- (5) 保護者との連携は十分に取れていたか。

保育の目標及び保育の内容について随時職員間で話し合い、共通理解を深め、子どもたちひとりひとりの健やかな成長のため、保護者や地域の皆さまとの連携を図るよう努めました。保育園に親しみを感じていただけるよう、園だよりやクラスだより、お知らせ等を通して保育園の様子を伝えると共に、地域の防災会議への参加や保護者への災害時引き渡し訓練の実施等で災害時の連携について確認しました。また保護者とは送迎時の時間や連絡帳を利用して、お子さまの様子をお知らせし、気軽に相談できる環境づくりに取り組みました。

食育に関しては年長児による野菜の栽培において他のクラスの園児も興味を持って成長する様子を観察したり、収穫を喜びました。また給食の食材に事前に触れたり、筋とりなどをしたり、おにぎりやサンドイッチなどを園児たちが手作りして楽しんで取り組みました。

感染症対策については十分に配慮を行っていましたが、本年は1月下旬にインフルエンザの感染がみられたため、引き続き加湿機能付き空気清浄機、CO2 濃度測定器（換気時期を知らせる）などを利用して、集団生活における感染対策に努めました。

日常の保育の中で生まれる隙間の時間や職員会議を利用して園内研修にも取り組みました。また、園外研修やオンライン研修などにも積極的に参加し、職員間で研修報告を回覧して共通理解を深め研鑽を積みました。

キャリアのある職員をチームリーダーに位置づけをして、若手保育士をサポートする保育体制づくりや、業務省力化をめざしICTを導入し書類を作成するなど、働きやすい環境づくりに努力しました。

地域の少子化による園児数の減少等が考えられますが、中須保育園を選んで通ってくださる子どもたち一人一人を大切にする保育を心がけると共に、保護者の皆様にもお子様を安心して預けて頂けるような環境づくりを行ない、保育園がお子さま、保護者、地域の皆さまそして職員にとって居心地の良い場所となるよう、これからも努力していきます。

中須保育園